

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	公衆浴場設備整備事業補助金	開始 年 度	平成8年度
団 体 名	函館浴場協同組合に加入している浴場経営者で、前年度に北海道の「公衆浴場設備整備費補助金交付要綱」に基づき補助金の交付を受けた者		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律 ・函館市補助金等交付規則 ・函館市公衆浴場設備整備事業補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	施設の老朽化や利用者の減少により、浴場経営が困難な状況となっていることから、「確保法」に基づき、設備の改修を行う経営者に対しその費用の一部を助成し、経営の安定化を図ることにより、住民の普通浴場（銭湯）の利用機会を確保している。 なお、補助対象者は、前年度に北海道の要綱に基づき補助金を支出した浴場経営者とし、北海道が前年度に交付した補助金額と同額を当該年度に支出する。
目 的	(目 的) 普通浴場の基幹設備の整備を行うことにより、公衆浴場の経営の安定を図り、もって市民の保健衛生の向上に資するため、当該設備改善を行う普通浴場に対し、補助金を支出するものである。
・ 効 果	(効 果) 当該設備整備事業を行うことにより、普通浴場の確保と市民の保健衛生に寄与する。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	23	360	360				30	750
	24	789	789				1,502	3,080
	25	330	330				125	785
	26	-	-				-	-
	27	360	360				263	983
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		
23				750				750
24				3,080				3,080
25				785				785
26				-				-
27				983				983

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	公衆浴場設備整備事業補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の老朽化や利用者の減少により、浴場経営が困難な状況となっていることから、「確保法」に基づき、設備の改修を行う経営者に対しその費用の一部を助成し、経営の安定化を図ることにより、市民の普通浴場の利用機会を確保している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「確保法」に定める地方公共団体の任務として、普通浴場の経営の安定を図る等必要な措置を講ずることが規定されている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の老朽化や利用者の減少は、経営者が自主改善できる有効な手段が無いと思われる。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法に基づく補助事業であり、北海道が前年度に交付した補助金額と同額を当該年度に交付するものである。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	公衆浴場設備整備事業補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
(効果測定方法, 具体的な数値等) 補助金交付実績: 平成23年度 360千円 (港湯) 平成24年度 789千円 (大東湯239千円, 白山湯550千円) 平成25年度 330千円 (港湯) 平成26年度 なし 平成27年度 360千円 (弥生湯)
事業を開始した平成8年当初, 市内の普通浴場(銭湯)は57浴場を数えたが, 現在では24浴場まで減少しており, 特に「小規模浴場」の廃業などにより銭湯の無い地域が拡大し, 日常の入浴が困難となった, いわゆる『入浴難民』を生み出していると考えられる。 公衆浴場設備整備事業で補助金を交付することにより, 普通浴場(銭湯)の経営の安定化と延命を図り, 自家風呂を持たない市民の入浴機会の確保に寄与しているものとする。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	公衆浴場設備整備事業に補助金を交付することにより, 普通浴場(銭湯)の経営の安定化と延命が図られるほか, 自家風呂を持たない市民の入浴機会の確保に寄与したものとする。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容) 本補助制度は, 北海道との協調補助制度であることから, 道の制度に変更があった場合には速やかに見直しを行うとともに, 今後も, 協調補助制度として維持していく。

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成 30 年度		平成 30 年度